



2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月15日

上場会社名 株式会社 ゼットン

上場取引所 名

コード番号 3057 URL <http://www.zetton.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木伸典

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 森充 TEL 03-6865-1450

四半期報告書提出予定日 2019年10月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	5,703	4.9	492	0.8	489	△2.0	329	15.0
2019年2月期第2四半期	5,434	3.4	488	5.4	499	5.0	286	18.6

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 321百万円 (16.5%) 2019年2月期第2四半期 275百万円 (22.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	76.36	—
2019年2月期第2四半期	66.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	3,717	1,041	28.0	241.29
2019年2月期	2,747	741	27.0	171.86

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 1,041百万円 2019年2月期 741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,150	4.3	500	7.8	490	△0.3	320	51.9	74.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	4,317,700株	2019年2月期	4,317,700株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	1,140株	2019年2月期	1,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	4,316,560株	2019年2月期2Q	4,315,703株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたってのご注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2019年4月12日に「E S経営」、「いい店づくり」、「展開力」を経営骨子と定め、企業体質を強化することを目的に、中期事業計画「zetton VISION 19to23」及び「SUSTAINABILITY STRATEGY」を策定いたしました。その初年度となる当連結会計年度におきましては、「地域社会に貢献するホスピタリティ企業」としてコンテンツプロデュースのノウハウを生かした「街づくり」に向けた施策として、葛西臨海公園の再開発事業を始め、当社グループの持つ各コンテンツ事業を磨きあげると共に、サステナビリティの概念に基づく取組みを実施することを軸に経営を進めております。

当第2四半期連結累計期間（2019年3月～2019年8月）につきましては、新たな成長戦略として位置付けております「葛西臨海公園」の再開発事業を含む多くの新規事業（当期9店舗）がスタートいたしました。一方で、「横浜マリントワー」の一時閉館（2022年リニューアル予定）を含む4店舗が減少いたしました。

売上高につきましては、第1四半期（3月～5月）にて新規事業が早期の段階で順調に立ち上がったこと、また、既存事業についても全事業において計画を大きく超過する結果となり、大きく増収となりました。しかしながら、第2四半期（6月～8月）に入り、7月の東京で猛暑日が0日であった等、歴史的な天候不順を主因に來客数が減少、一時的に減収となりましたが、ブライダル事業、国際事業が好調に推移したことを背景に、上期（3月～8月）の着地としては、計画を超過する結果を残すことができました。また、前期比では、外的要因である「横浜マリントワー」の一時閉館による減収を読み込んでいたものの、新規事業の寄与、既存事業の伸長にてそれをカバーしても余りある結果をもたらし、大きく増収となっております。

営業利益につきましては、新規事業のインシャルコスト、撤退事業の影響を鑑み、事業計画上、前期比で減益計画としておりましたが、これに甘んじることなく、戦略的なメニュー価格の見直し、購買活動による原価低減、店舗オペレーションの効率化による人件費の改善及び一般経費における費用対効果の最適化等、積極的に利益体質化への変革を推し進めました。これにより当初の計画を大きく超過、前期実績を上回る着地となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間（2019年3月1日～2019年8月31日）の連結業績は、売上高5,703百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益492百万円（同0.8%増）、経常利益489百万円（同2.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益329百万円（同15.0%増）となりました。

※店舗数については、当期間において9店舗の増加、4店舗の減少により、当第2四半期末の店舗数は、直営店69店舗（国内63店舗（ビアガーデン13店舗含む）、海外6店舗）、F C店8店舗の合計77店舗となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ970百万円増加の3,717百万円となりました。これは主に、現金及び預金が498百万円、売掛金が371百万円、有形固定資産が223百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ670百万円増加の2,675百万円となりました。これは主に、買掛金が168百万円、短期借入金116百万円、長期借入金98百万円、未払法人税等87百万円、未払費用65百万円、未払金が63百万円、前受金が40百万円、資産除去債務21百万円、未払消費税等13百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ299百万円増加の1,041百万円となりました。これは主に、利益剰余金が308百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ498百万円増加し、1,049百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、634百万円（前年同期は588百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加等の資金減少要因を税金等調整前四半期純利益、その他の流動負債の増加、仕入債務の増加、減価償却費、その他の流動資産の減少、未払消費税等の増加等の資金増加要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、313百万円(前年同期は186百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、180百万円(前年同期は72百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期通期の連結業績予想につきましては、2019年10月10日の「業績予想の(上方)修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想から変更はありません。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	551,114	1,049,582
売掛金	173,772	545,102
商品	1,745	1,944
原材料及び貯蔵品	77,688	88,145
前払費用	98,751	106,158
その他	72,751	39,238
貸倒引当金	△1,779	△1,140
流動資産合計	974,045	1,829,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,956,269	3,119,491
減価償却累計額	△1,469,889	△1,519,388
減損損失累計額	△653,418	△653,418
建物及び構築物 (純額)	832,961	946,685
車両運搬具	-	6,418
減価償却累計額	-	△1,072
車両運搬具 (純額)	-	5,345
工具、器具及び備品	929,503	1,056,286
減価償却累計額	△688,896	△740,219
減損損失累計額	△44,047	△44,047
工具、器具及び備品 (純額)	196,559	272,019
リース資産	212,881	212,881
減価償却累計額	△151,289	△155,392
減損損失累計額	△50,518	△50,518
リース資産 (純額)	11,073	6,970
建設仮勘定	61,387	94,810
有形固定資産合計	1,101,981	1,325,831
無形固定資産		
のれん	13,267	12,324
ソフトウェア	6,905	6,811
その他	28,491	26,166
無形固定資産合計	48,665	45,302
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
長期前払費用	6,911	4,719
差入保証金	406,163	379,404
繰延税金資産	209,010	132,893
その他	308	71
投資その他の資産合計	622,393	517,089
固定資産合計	1,773,040	1,888,223
資産合計	2,747,086	3,717,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	385,829	554,726
短期借入金	-	116,666
1年内返済予定の長期借入金	356,476	344,086
リース債務	22,230	14,434
未払金	222,236	285,807
未払費用	270,173	335,961
未払法人税等	29,188	116,201
未払消費税等	51,375	64,707
株主優待引当金	12,624	6,558
前受金	54,546	94,766
その他	27,534	45,716
流動負債合計	1,432,215	1,979,633
固定負債		
長期借入金	383,173	494,213
リース債務	8,689	2,910
資産除去債務	173,539	195,490
その他	7,626	3,450
固定負債合計	573,029	696,063
負債合計	2,005,244	2,675,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,914	383,914
資本剰余金	4,309	4,309
利益剰余金	369,497	677,509
自己株式	△130	△130
株主資本合計	757,591	1,065,602
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△15,749	△24,043
その他の包括利益累計額合計	△15,749	△24,043
純資産合計	741,841	1,041,559
負債純資産合計	2,747,086	3,717,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	5,434,631	5,703,258
売上原価	1,447,375	1,482,013
売上総利益	3,987,255	4,221,245
販売費及び一般管理費	3,498,395	3,728,461
営業利益	488,859	492,784
営業外収益		
受取利息	91	42
為替差益	9,579	-
協賛金収入	1,199	3,228
その他	6,676	4,779
貸倒引当金戻入額	-	639
営業外収益合計	17,548	8,690
営業外費用		
支払利息	3,787	2,853
為替差損	-	6,327
その他	2,801	2,354
営業外費用合計	6,588	11,535
経常利益	499,819	489,938
特別利益		
固定資産売却益	338	157
保険解約返戻金	4	242
特別利益合計	343	400
特別損失		
減損損失	24,432	-
店舗閉鎖損失	2,366	1,021
リース解約損	7,302	105
その他	2,552	-
特別損失合計	36,654	1,126
税金等調整前四半期純利益	463,507	489,211
法人税、住民税及び事業税	78,629	87,678
法人税等調整額	98,235	71,939
法人税等合計	176,864	159,617
四半期純利益	286,642	329,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	286,642	329,593

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	286,642	329,593
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10,926	△8,293
その他の包括利益合計	△10,926	△8,293
四半期包括利益	275,715	321,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,715	321,300

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	463,507	489,211
減価償却費	87,335	116,628
減損損失	24,432	-
のれん償却額	3,815	568
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	547	△639
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△4,676	△6,066
受取利息及び受取配当金	△91	△42
支払利息	3,787	2,853
為替差損益 (△は益)	△9,579	6,327
有形固定資産売却損益 (△は益)	△338	△157
店舗閉鎖損失	2,366	1,021
たな卸資産廃棄損	-	1,513
リース解約損	-	105
売上債権の増減額 (△は増加)	△253,050	△371,329
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,218	△12,169
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△74,977	26,294
仕入債務の増減額 (△は減少)	245,639	168,896
未払消費税等の増減額 (△は減少)	44,150	13,331
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	112,323	220,095
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	-	4,176
その他	-	△242
小計	633,972	660,378
利息及び配当金の受取額	91	42
利息の支払額	△3,747	△2,770
法人税等の支払額	△41,947	△23,204
法人税等の還付額	-	4
その他	-	△105
営業活動によるキャッシュ・フロー	588,369	634,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△156,201	△339,202
有形固定資産の売却による収入	90	-
無形固定資産の取得による支出	△32,351	△700
貸付けによる支出	△100	-
貸付金の回収による収入	229	304
差入保証金の差入による支出	△3,356	△12,604
差入保証金の回収による収入	4,820	38,478
その他	-	242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△186,870	△313,481
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	150,000
短期借入金の返済による支出	-	△33,333
長期借入れによる収入	170,000	295,000
長期借入金の返済による支出	△204,985	△196,350
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△16,036	△13,574
配当金の支払額	△21,578	△21,582
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,599	180,159
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,726	△2,556
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	317,172	498,468
現金及び現金同等物の期首残高	552,718	551,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	869,891	1,049,582

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。